

中国・四国地方の都市について述べた次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

- ㉞ この都市を流れる高梁川の河口部が埋め立てられ、コンビナートが作られました。特に【 A 】地区では、石油化学工業と鉄鋼業が発達しています。
- ㉟ この都市は県庁所在地です。この都市に周囲を囲まれる形で別の町があり、いずれも自動車工業が発達しています。
- ㊀ 県内では㉟に次いで、2番目に人口が多い都市です。県の東の端にあり、鉄鋼業が発達しています。
- ㊁ 2003年に徳山市などの4つの市や町が合併してできました。第二次世界大戦中に軍の工場①があったことなどから、現在でも石油化学工業が発達しています。
- ㊂ 【 B 】の生産で全国的に有名な都市です。1999年、本州と結ばれるルート②が開通し、3ルートすべてが完成しました。

(1) 【 A 】にあてはまる地名を漢字で答えなさい。

(2) 【 B 】にあてはまる工業製品は何か答えなさい。

(3) 軍の工場①について、大工場は、軍の工場の跡地や埋め立て地の他にも建てられました。かつて、この地域特有の気候と、海の近くであることを利用して作られていた【 C 】の跡地などにも大工場が建てられてきました。【 C 】にあてはまる言葉を漢字2字で答えなさい。

(4) 本州と結ばれるルート②について、このルートにつけられた愛称を解答欄にあてはまるように答えなさい。

(5) ㉞～㊂の都市の名前を答えなさい。

(1)	(2)	(3)
(4)	海道	
(5) ㉟ 市	(5) ㊀ 市	(5) ㉞ 市
(5) ㊂ 市		

解答

- (1) 高梁川は岡山県を流れる河川で、河口は倉敷市にあります。
「コンビナート」「石油化学と鉄鋼」というキーワードから、また「〇〇地区」という独特の呼び方から水島コンビナートを導きます。
- (2) 本四架橋の四国側ですから、坂出、鳴門、今治のいずれかです。本四架橋3ルートのうち最初にできたのは児島坂出ルート（瀬戸大橋）、2番目が神戸鳴門ルート（明石海峡大橋・大鳴門橋）で、最後にできたのが尾道今治ルートです。
したがって今治を指していますので、その特産品はタオルです。
- (3) 瀬戸内工業地域の工業用地には、塩田の跡地が利用されています。
- (4) (2) のヒントにもなりますが、本四架橋3ルートのうち「海道」の愛称がついているのは「瀬戸内しまなみ海道」です。
- (5) ㉗は(1) で説明したように、倉敷市です。
①は中国四国地方の県庁所在地で自動車工業がさかんなのは広島市です。広島市の内部に府中町があり、マツダ自動車の企業城下町となっています。
㉘は広島県の第2都市で鉄鋼がさかんことから、福山市とわかります。
㉙は石油化学工業がさかんな瀬戸内の都市ですから、周南市です。
㉚は(2) で説明したように、今治市です。

(1) 水島	(2) タオル	(3) 塩田
(4) 瀬戸内しまなみ	海道	(5) ㉗ 倉敷
(5) ① 広島	(5) ㉘ 福山	(5) ㉙ 周南
(5) ㉚ 今治		